

アソカ講話028

テーマ「悩みを大きくしない」

未経験のことや新しいことにチャレンジして、思うようにいかない時、人は一杯一杯になる。22年1月採用者、4月採用者の方は、ここ数カ月そのことの繰り返しだったかもしれない。仕事が一通りできるようになるまで、できない自分にイライラしたり、どうしていいかわからない不安に襲われたり、他者と比較して落ち込んだりするものである。

しかし、君、流れる涙は一所懸命取り組んだものの証であり、勲章なのだ。ひたむきに取り組むからこそ、生まれる苦しみであり、流れる涙なのだ。今、素晴らしいケアをしている人、みんな通った道なのだ。あなただけが通るみちではない。まずそのことを知ろう。

そして、ご利用者の対応がうまくいかないことを自分のせいにして必要以上に苦しむことはもうやめよう。苦しんで何も変わることはない。特に認知症の対応は、その時で違うことがあり、試行錯誤で良いケアを見出していくことが求められている。そのために、勉強して知識をつけ、アセスメントする力を磨いているのだ。

ご利用者への思いと、仕事へのひたむきな思いがあればそれでいい。自分で自分を責め、悩みを大きくしてはならない。